

発達臨床心理セミナー2017

日時：10月29日（日）

13:00～16:30

会場：新宿NSビル NS会議室3-J

対象：幼児期から思春期の子どもに関わる大人（保護者、教員、臨床現場の方等）

受講料：2,000円 ★受講料割引（10%割引）適用講座

定員：90名（定員になり次第、締め切ります）

被害体験からの主体の回復： 幼児期から思春期の子どもへの支援のあり方

◆講演1 「『女の子』の支援を考えるー若草プロジェクトから」

村木 厚子 若草プロジェクト代表呼びかけ人
津田塾大学総合政策学部 客員教授

瀬戸内寂聴さんや村木厚子さんたちが呼びかけ人となって発足した、少女や若い女性を支援するための「若草プロジェクト」があります。子どもの貧困、虐待などを背景として「若草プロジェクト」が始まった背景や活動の内容についてお話頂き、私たちはその現代的課題に何ができるのかを考えます。

◆講演2 「児童虐待の影響と親子への支援」

伊東 ゆたか 帝京大学精神神経科 病院教授

児童相談所における勤務の経験から、虐待の子どもへの影響とその支援についてお話頂きます。年少時に虐待・ネグレクトという強いストレスを受けると、その後の成長と社会適応に大きく影響します。しかし、いち早く気づき支援することで予後は変わります。私たち大人がどのように子どもそして家族を支援できるのかを考えます。

◆講演3 「少年の健全育成と非行防止について」

芹田 卓身 埼玉県警察少年サポートセンター 課長補佐

非行の背景には様々な要因があります。少年サポートセンターで思春期の子どもたちと実際に関わっている立場から、非行、虐待、いじめ等少年問題の現状、実際に取り組まれている支援についてお話頂き、具体的支援のあり方について考えます。

◆ディスカッション「被害体験からの回復をどう支援するか」

企画：西園マーハ文（白梅学園大学教授／精神科医） 堀江まゆみ（白梅学園大学教授／臨床発達心理士）
小保方晶子（白梅学園大学准教授／臨床心理士）